

地域とともに事業が持続的に発展していくために

京都観光行動基準

(京都観光モラル)

事業者編

京都が京都であり続けるために、観光と市民生活がより調和し、京都の文化や美しい景観が守られ、地域の発展やSDGsの推進にもつながる持続可能な観光の実現を目指しています。

観光事業者・従事者等、観光客、市民がお互いに尊重しあい、この目標を達成していくために、それぞれが主体となって大切にしていただきたいこととして、この行動基準を策定しました。

これまでから京都観光を支えていただいている事業者の皆様、最前線で観光客に接される従事者の皆様の行動が、これからの京都観光を築くうえで、重要です。



事業者

観光客

市民

行政・観光協会などによる下支え

[行動基準の活用例]

業界内・会社内で
どんなことができるか
議論する

独自の行動基準を
作成する

経営者とスタッフが
しっかり共有し、
実践する

行動基準の理念



悠久の歴史のなかで、
様々な「宝」を磨いてきた京都は、
多くの旅人を魅了する都市

「旅」は人生を豊かにし
世界の平和につながる活動である

「旅」を提供する京都を将来に継承する必要がある



「宝」を消費するのではなく、新たに生み出していくことも重要

これらを背景に、行動基準を策定します

観光事業者・従事者の皆様と大切にしていきたいこと

京都の文化や美しい自然・まちなみは、先人たちが築き、守り、代々受け継がれてきた賜であり、その努力があったからこそ、私たちは今の美しい京都を享受することができ、また観光面においても、国内外から評価される都市へと発展してきました。

今後も、かけがえのない京都を未来へと引き継いでいくためには、皆様の積極的な貢献により、京都が有する地域文化や景観などを継承し、これらを更に発展させていく必要があります。

地域とともに皆様の事業が持続的に発展していくためにも、地域活動への協力、観光客への質の高いサービス・商品の提供、災害等に備えた事業活動等、どのようなことができるのか、この行動基準を基に議論いただき、取組の実践につなげましょう。

市民生活と観光の調和

地域に貢献するには？
観光客に伝えていくべきことは？



- (例) 地域活動への協力、特産物・工芸品の活用
- (例) マナー周知、地域の習わしを伝える
- (例) 地域ボランティアへの参加

地域の魅力や、市民生活の豊かさが高まるよう、地域との調和に配慮し、地域文化・コミュニティ・経済の発展に貢献するとともに、観光客に対して、地域のルールや習慣を伝えていきましょう。

質の高いサービス

観光客が感動し、再び訪れたいと
思っただけのサービスとは？



- (例) 京都の習わし・文化を学び、(季節ごとの風習を取り入れるなど)おもてなしに活かす

観光客が感動し、京都を再び訪れたいと思っただけのよう、京都の歴史や文化、伝統を学ぶとともに、観光客それぞれの文化や生活習慣をよく理解し、敬い、おもてなしの心でサービス・商品の質を高めていきましょう。

環境・景観の保全

自然環境・景観に配慮した取組とは？
京都の美しさの維持・発展に貢献できる取組とは？



- (例) 周囲の景観と調和した店構え
- (例) リサイクル、省エネ

京都の美しい自然やまちなみと地球環境の保全につながるよう、地域の自然環境や景観に配慮するとともに、環境にやさしい事業活動を行いましょう。

災害対応

“もしも”に備えて、何ができるでしょうか。



- (例) 定期的な設備点検
- (例) 定期的な災害発生時の対応確認
- (例) 衛生対策

誰もが安心・安全で過ごせるとともに、事業を継続し、従業員の雇用を維持できるよう、災害や感染症、事故等に注意し、十分に備え適切に行動しましょう。

